

ゆくはし市議会だより



PICK UP

令和4年10月24日(月)、福岡県市議会議長会が行橋市で開催され、県下28市の議長が一同に会し、九州議長会へ上程する議案の審査を行いました。行橋市からは小原義和議長と小見祐治副議長が出席しました。この後、小川秀樹行橋市文化課長を講師に迎え、研修会を行いました。

令和3年度 行橋市一般会計歳入歳出決算を可決

令和3年度の歳入決算の総額は、347億8,131万5,006円、前年度対比12.6%の減、歳出決算の総額は340億1,768万4,804円、前年度対比12.4%の減。歳入歳出を差引した形式収支額は、7億6,363万202円の黒字、翌年度へ繰り越すべき財源2億903万6,252円を差し引いた実質収支額は5億5,459万3,950円の黒字決算となります。各常任委員会で審査を行い、本会議最終日に賛成多数で認定されました。

Index

9月定例会概要…2/ 委員長報告…3～5
一般質問…6～12/ 議会改革10年のあゆみ…13
人事案件・議会日誌…14/ 子ども議会…15/ 議決結果…16

次回12月定例会は



12月6日(火) 10時 開会予定

詳細は議会事務局へ

お問い合わせください。

行橋市議会事務局 TEL0930-25-9633

9月定例会傍聴者/延べ69人



令和4年 9月定例会

定例会の概要

令和4年9月第14回行橋市議会定例会は、9月6日から9月28日まで23日間の会期で行われました。

この定例会では、行橋市財産条例の一部を改正する条例の制定など条例5件、行橋市図書館等複合施設整備事業に係る事業変更契約など契約2件、行橋市及び苅田町におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約の締結1件、令和4年度一般会計補正予算などの補正予算9件、令和3年度一般会計歳入歳出決算などの決算10件、訴えの提起1件、人事案件1件の合計29件の市長からの提出議案と、議員提出の特別委員会の設置1件、意見書2件の併せて3件の審議が行われました。※議案の議決結果は⑯ページをご覧ください。

9月定例会議案内容

条例	5件
協議	1件
契約	2件
補正予算	9件
決算	10件
訴えの提起	1件
人事案件	1件
特別委員会の設置	1件
意見書	2件

主な議案等について

議案第49号 令和4年度 行橋市一般会計補正予算

今回の補正予算は、既定予算に対し、11億2,159万3千円を増額し、歳入歳出予算総額を、それぞれ310億3,699万6千円としようとするものです。

主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策事業として、オミクロン株対応の新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費2億5,756万8千円、18歳以下の子どもを対象としたインフルエンザの予防接種助成事業3,143万円や保育所等給食支援事業1,638万円が、また、原油価格・物価高騰対策に伴うものとして、医療機関支援金給付事業、保育施設助成事業、障がい者施設助成事業、

介護施設助成事業併せて2,060万円、このほか交通事業者を支援することを目的とした地域公共交通原油価格高騰対策支援事業1,985万円が増額補正されています。

また、キャッシュレス決済サービスを利用した支援を行う地域経済循環創造事業1億7千万円、市役所庁舎隣接の土地に付随した家屋を解体する工事費1,247万6千円、65歳以上の高齢者を対象としたスマホ購入支援及びスマホ教室開催のための経費1,093万9千円、令和4年8月豪雨により発生した、農地及び農業施設について復旧工事を行うため、農林施設災害復旧費として、3,481万8千円が増額補正されています。

議案第48号 行橋市民体育館外部等改修工事請負変更契約の締結

本案は、令和4年6月定例会において地方自治法第96条第1項第5号及び行橋市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議決された行橋市民体育館外部等改修工事について、議決を受け着手したところ、契約金額に変更が生じたことにもない、改めて議会の議決を求めらるるものです。既決の請負代金額1億7,227万1千円に367万9,500円の増額を行い、変更後の請負代金額を1億7,595万500円とするものです。



改修中の行橋市民体育館

9月定例会の日程と概要

9月6日 本会議（開会）

会期決定（9月6日～9月28日）
議案の上程・提案理由の説明
市長が提出した議案の提案理由を説明

9月12～14日 本会議

一般質問
議員が市政全般について
質問し、市長などが回答

詳しくは
7ページへ

9月14日 本会議

一般質問
議案の訂正、訂正理由の説明、質疑、採決
議案の質疑、委員会付託

9月14～16、20～22日 常任委員会

常任委員会（総務、文教厚生、建設）で
所管ごとに執行部から説明を受けて審査し、
各委員会での可否を決定

9月28日 本会議（最終日）

審査終了事案の上程
委員長報告
各常任委員長が委員会での審査結果を報告
質疑・討論・採決
委員長報告への質疑及び反対・賛成討論を行
ったうえで議会としての可否を決定する
新たな議案の上程・提案理由の説明
質疑・委員会付託
委員長報告・質疑・討論・採決
議案に対する質疑・採決
議員提出に係る事案の上程、提案理由の
説明、議案に対する質疑、討論、採決
意見書の上程・質疑・討論・採決
議会閉会中の所管事項調査要求
閉会

常任委員会の報告

9月14日から9月22日まで各常任委員会で議案の審査が行われ、28日の本会議で各委員長から報告されました。審査内容の一部を抜粋して掲載します。

※ ○↓【委員長】 ○↓【副委員長】

総務委員会

○井上倫太郎 ○矢野潤一 徳永克子

二保茂則 小坪慎也 小見祐治

【審査案件】 11件 ● 条例3件

● 協議1件 ● 補正予算3件

● 決算3件 ● 訴えの提起1件

議案第43号

行橋市財産条例の一部を改正する条例の制定

本案は、公有財産の一部を職員の通勤用自動車の駐車場として使用するため、通勤用自動車の駐車に係る目的外使用料を月額3,500円と定めるなど、所要の改正を行うものです。

対象となる土地は、市庁舎に隣接する旧大浦駐車場と、商工会議所に隣接する駐車場の2か所であり、旧大浦駐車場は、市役所西棟庁舎の老朽化と不足する駐車場を解消するため公有地の拡大を目的に

購入されており、庁舎建て替えのグラウンドデザインの作成については、今後速やかに検討を開始し、庁舎用地の有効活用、駐車場の混雑回避、事故防止についての検討を行うとの説明を所管より受けています。

審査の中で委員より、市庁舎内の一般駐車場は、年度末の混雑する時期は不足するのではないかと質したところ、所管課からは、今後、継続的に市庁舎内の駐車場について調査を行い、不足するようならば市役所庁舎に隣接した旧大浦駐車場内の職員駐車場は、コスメイト駐車場との配置換えも視野に入れていたとの答弁を得ました。

また、財産条例の中で職員駐車場の目的外使用について定めることで、他の行政財産での職員駐車場としての使用にも影響があるのではないかとといった意見が出されています。

このほか、本来の目的である市庁舎及び駐車場の整備等グラウンドデザインの作成については、早急に着手していただきたいとの意見が出されました。

審査終了後、取りまとめ、採決の結果、委員賛成少数で、否決すべきであると決しました。



議案第49号

令和4年度行橋市一般会計補正予算

当委員会の審査における質疑の主な内容及び意見等は、市役所庁舎隣接の家屋を解体し、駐車場へ改修を行う工事については、改修後、新たに25台の市役所利用者駐車場を設け、第2駐車場との間に進入通路を新設し、車両及び利用者の動線を確認するとの説明を受けています。

委員からは、庁舎の建て替えのグラウンドデザインが整っていない現状だが、市役所利用者の駐車場は、現状の改善をまづ出来ることから行い、議員駐車場については議会においても検討を行い、駐車場一帯の環境改善について、追加の予算措置も視野に入れ、更なる検討を行っていたいただきたいとの意見が出されました。

審査終了後、取りまとめの中で、旧大浦駐車場一帯の駐車場改修工事について、当委員会として、次のとおり付帯意見を付すことで、意見がまとまりました。

1つ、当該工事費については、建物解体後の駐車場の利用形態について、庁舎利用者の利便性および安全性の向上を考慮した上で再度検討し、委員会への報告を経たのち執行すること。

採決の結果、議案第49号のうち、当委員会所管部分については、委員、賛成多数で原案のとおり可決すべきであると決しました。

議案第57号

令和3年度行橋市一般会計歳入歳出決算

審査における質疑の主な内容及び意見等は、防災危機管理室では、避難所や備蓄など、女性目線での対応策について委員より、横断的に意見を取り入れるような取組を行っていたいただきたいとの意見が出されました。また、消防本部では、コロナ禍における消防隊員の勤務について委員より、人命に係ることであり緊急時に対応できる職員数は確保していただきたいとの意見が出されました。

審査終了後、取りまとめ、採決の結果、当委員会所管部分については、委員賛成多数で、認定すべきであると決しました。



駐車場改修が行われる庁舎敷地を現地調査

文教厚生委員会

○瓦川由美 ○西田憲司 豊瀬尉

面岡淳輔 藤木巧一 田中次子

【審査案件】 9件 ●補正予算4件

●契約の締結2件 ●決算 3件

議案第47号

行橋市図書館等複合施設整備事業に係る変更契約の締結

本案は、行橋市図書館等複合施設整備事業に係る事業契約におきまして、規定される物価変動の変化が生じた場合の増額等とともに、契約約款の一部であるサービス対価の改定方法を改め、併せて事業変更契約の締結を行うとするものであります。なお、契約額につきましては、既決の50億2,025万8,771円に対し9,378万6,869円を増額し、51億1,404万5,640円とするものです。

本案に対する説明のなかで担当課より、事業期間が長期に亘るPFI事業は、物価の変動等の選定事業に与える影響の程度を勘案するとリスク分担のあり方について、できる限り協定等で取り決めておくことが望ましいため、国の契約に関するガイドラインに従い物価変動に伴うサービス対価の改定方法を契約約款で定めている。この物価変動については、毎年、契約約款に定められた指標を確認し

たうえで価格指数に3%以上の差が生じた場合、サービス対価の改定を行うことが明記されている、との説明がありました。

委員より、運営業務の対価を増額する場合の考え方などについて説明を受けたが、市民感情を考慮すると、指定管理料の負担の増加が懸念されるなか、図書館利用者の状況や利用の多い時間帯、フロア毎の利用率などの分析を行うとともに、事業内容の見直しを検討していただきたい、と質したところ、担当課より利用状況は逐次確認している。利用者の声を活かしたかたちで事業内容の変更を協議したい、との答弁がなされています。

審査終了後、取りまとめの中で、現在の契約上、物価変動により変更契約することについては理解できるが、市長選挙の争点でもあった図書館について、今後どのように取り組んでいくのか、市長自らが、コスト削減の意識を持ち、課題解決に向けて取り組んでいただきたい、との要望が出されています。

採決の結果、委員賛成少数で、否決すべきであると決しました。

議案第57号

令和3年度行橋市一般会計歳入歳出決算

当委員会所管部分の決算の概要は、予算現額191億9,255万円に対し、執行済額177億3,251万813円、また、令和4年度への繰越額は4億

982万5,000円となっています。

令和3年度の主な事業として、福祉関係では、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業や、子育て世帯への臨時特別給付金支給事業、また、健康づくり対策として、高齢者に対するインフルエンザ等予防接種事業などが実施されています。次に、教育関係では、学生応援給付金支給事業や、小中学生給付金支給事業、学校施設の屋上防水および外壁等の改修工事、また行橋市民体育館内部改修工事の内建築主体工事などが執行されています。

審査の主な内容および意見等については、新型コロナウイルス感染症の感染人数が際立って多かった。また、年末に掛けて高校受験や大学受験を控える生徒並びに学生たちへのフォローが重要であると考えている。令和3年度に行われたワクチン接種の状況を踏まえ、必要な対策の検討をお願いしたい、との意見が出されました。

また、母子保健事業について、令和3年度の乳幼児健診の対象者は2,270人であり、その中で受診された方は2,046人、受診率は90.1%である。また、未受診の主な理由はコロナウイルスのまん延による受診控えによるものであり、未受診の方に対しては電話による聞き取りなど個別に対応を行っており、すべての健診対象者との確認は取れている

との説明がありました。

委員より、支援が必要な乳幼児の家庭に対しては、丁寧な対応を行っていただくよう、意見が出されております。

このほか、ゆくはし文化芸術フェスタ「奇跡のコンサート」について、事業費全体に占めるステージ委託料の割合が高いため、今後、このような事業を行う場合は、コスト面や音質の良さなどを考慮し、音響設備が整った施設での開催を検討していただきたい、との要望が出されております。

審査終了後、現地調査を行い、とりまとめ、採決の結果、当委員会所管部分については、委員賛成多数で、認定すべきであると決しました。



リブリオ行橋を現地調査

建設経済委員会

◎大池啓勝 ○小堤千寿 田中建一
鳥井田幸生 藤本廣美 澤田保夫

【審査案件】12件 ● 条例 2件

● 補正予算4件 ● 決算等 6件

議案第44号

行橋市企業誘致条例の一部を改正する条例の制定

本案は、今後、更なる地域産業の振興、雇用機会の拡大を推進することを目的として、現行条例の定義、奨励措置等について改正を行うとするものです。

審査の中で、先日指摘があったように、普通財産の管理処分は市長において厳格にするべきところ、便宜の供与という名目で優先的譲渡を可能としている。しかも、優先的譲渡を行う手続的な条件が曖昧で公平・公正の観点からも疑問であり、加えて土地の処分に関して規定している行橋市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例との調整すらできていない。また、同条の上水道整備においても、行橋市水道事業給水条例との整合性や、議案説明の段階で突然出てきた給水加入金交付金について、その限度額や適用範囲が不透明であり、曖昧な部分が多い。条例改正の趣旨や内容

が他政策あるいは他課の業務に影響を与えるような場合は、十分に協議を終えてから上程すべきである、との強い指摘が出されています。

採決の結果、委員賛成なしで、否決すべきであると決しました。

議案第49号

令和4年度行橋市一般会計補正予算

当委員会、所管部分における補正は、3億8,091万2千円の増額を行うものとするものです。

今回の補正の主な内容は、商業観光課において、中小企業者原油価格・物価高騰等支援事業にかかる経費として、2億8,255万9千円が増額補正されています。

次に、都市政策課において、地域公共交通原油価格高騰対策支援事業にかかる経費として、1,985万円が増額補正されています。

審査における質疑の主な内容として、商業観光課において、原油価格や物価の高騰は市民全体に影響するものであるにも関わらず、中小企業者だけを支援するのは、おかしいのではないか。プレミアム商品券のプレミアム率を上げる、各世帯に商品券を配る、あるいは子育て世帯への支援策など、公平・公正かつメリハリのきいた市独自策を検討していただき

たい、との指摘が出されています。

また、「意思確認」が支給要件の中に含まれているが、どのように確認するか、本社と本店が違う場合の取り扱いはどうするのか等の質問に対して回答が曖昧な部分が多かったため、要件や根拠をもっと明確にするように、との意見が出されています。

次に、都市政策課において、今回の支援目的は原油価格高騰によるものであることから、稼働率に応じて支援するべきではないか、との意見が出されております。また、タクシーの台数を増やす、もしくは従業員に直接還元されるような支援策を検討していただきたい、との意見が出されています。

審査終了後、とりまとめの中で、各課から提案された原油価格・物価高騰等対策支援金事業は、いわゆるバラマキであり、また、その支援内容も公平・公正ではなく、要件も曖昧であった。支援するのであれば偏りが生じないよう、公平・公正で且つ、より費用対効果の高い支援策を講じていただきたい、との意見が出されています。

採決の結果、当委員会所管部分については、委員賛成なしで、否決すべきであると決しました。



整備工事中の長浜公園を現地調査



令和4年9月定例会 一般質問

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に対して事務の執行の状況及び将来に対する方針について質問します。

9月定例会では、12名の議員が市政全般について質問し、執行部から回答を得ました。

内容の一部を抜粋し、質問と答弁の要旨を掲載します。

各議員記事の二次元バーコードから一般質問の動画をご覧になれます。

動画で観よう！



矢野 潤一 議員 →7P



- ①今後の行橋

西岡 淳輔 議員 →9P



- ①安全で快適な住環境
- ②湧水対策
- ③18歳まで医療費無償化
- ④教育行政

瓦川 由美 議員 →11P



- ①今後のまちづくり

大池 啓勝 議員 →7P



- ①安全安心の街づくり
- ②今後の教育方針

豊瀬 尉 議員 →9P



- ①湧水対策
- ②今川のサイクリング道路整備
- ③政治スタンス

小見 祐治 議員 →11P



- ①行政運営
- ②湧水対策

井上 倫太郎 議員 →8P



- ①入札
- ②市庁舎駐車場

小坪 慎也 議員 →10P



- ①ポストコロナとオンライン授業の在り方
- ②地域包括支援センター
- ③経済安全保障法制と地方行政
- ④拉致問題

西田 憲司 議員 →12P



- ①行橋市の道路情勢
- ②駅東口街づくりの現在・過去・未来
- ③小中学校プール施設のあり方

藤木 巧一 議員 →8P



- ①田中市政8年間の総括
- ②市の広報のあり方

田中 次子 議員 →10P



- ①産後ケア事業
- ②公共施設・公衆トイレ問題
- ③コスメイト行橋

徳永 克子 議員 →12P



- ①保健・福祉事業
- ②物価高騰対策
- ③奨学金制度の改善
- ④築城基地問題
- ⑤窓口業務



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問者席の前面にアクリル板を設置しています。

※一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

本会議の映像を録画配信しています。

YouTube（ユーチューブ）の行橋市議会のチャンネルへアクセスしていただくと、定例会ごとの再生リストより、一般質問の映像をご覧になれます。

行橋市議会 YouTube チャンネル





じゅんいち 潤一 議員
やの 矢野

議員 コンパクトシティ問題・課題では、免許返納やバスの便数が少ない、病院に行けない、買物に出かける事が厳しくなる地域も少なくない。コミュニティバスなど、自宅から最寄りのバス停周辺整備をする事が大切で、他市で実用実験中のモビリティカーを活用するなど、インフラ整備について伺う。

都市整備部長 公共交通への需要が低迷する中、サービスを提供する為には、大きな財政支援が必要ですが、自動運転など新たな技術やサービスの動向を注視し、交通事業者と共に利便性の高い公共交通サービスの実現を旨とす。

議員 多くの方が魅力を感じて住んでいただく、移住していただく事が重要だと思いますが、今後の方策について伺う。

総務部長 生産年齢人口・子育て世代、働く世代の方々に、行橋に住みたい、住み続けたいと思っていただく事が重要と考え、皆様に満足していただける施策の実施を検討中。

市長 施策を打っていかねばこのままの活気がなくなるし、子育て世代は非常にお金を使うわけで、持続可能性を考

今後の行橋



動画で観よう！



えた時に、生産年齢人口・子育て世代に向けた施策を打つ必要がある。

議員 濁水に度々見舞われているが、減圧まで考えずに水が使用できる様、水の安定確保は必要だが、現状と方策を伺う。

環境水道部長 自然に左右される事なく、水の安定確保を図る方策として、水源の多様化を目指す為に新たな水源確保を検討しており、北九州市・行橋市・苅田町の3者共同で用水供給事業について検討し、送水管整備の工法が実現可能なのか調査中。

議員 経験した事のない様な水災害も多い。集中的な雨を一時的に貯め、雨水を処理し、トイレで使用する等、雨水の再利用は出来ないか。

環境水道部長 雨水の有効利用の必要性については、全国的にも検討されており、洪水調整機能を有する小型雨水貯留タンクを設け、一般家庭は散水に利用、商業施設や企業でトイレや雑用水に使用している事例もあり、水道使用量が削減し節水対策になる。



ひろまさ 啓勝 議員
おおいけ 大池

議員 安全安心のまちづくり、市民が安全に安心して暮らせるまちは、誰がどこに住んでも望むものです。先の参議院選挙の期間中、安部元総理が銃撃され亡くなりました。改めてご冥福をお祈り致します。理由はどうあれ、このような暴挙は許されません。安全安心に暮らしたいだけという市民の願いを叶えるため、我々は汗を流す必要がありますが、特に市長には、全ての分野においていかに市民の方向を向いた政治をするかにかかっています。その点を踏まえて質問いたします。今後の市政運営の方針、その基盤となる財政の考え方を伺う。今議会、令和3年度の決算が提出されている。これは田中市政時の決算であります。この決算の評価、将来に向けた中長期の財政運営の考え方、20年後の財政基盤を盤石にするには何が必要か。

市長 基金残高17億9,400万円増、地方債残高、約2億6,400万円増、令和3年度決算は、経常比率が改善されている。財政面において将来世代に負担を残さないように考えている。

議員 答弁を聞くと田中市長が健全財政を貫いていたというような、金額だけ見れば、具体的に数字をあげて質問します。それは、以前から田中市政との考え方の違いがある。令和3年度末の残金、全体で、153億円弱、

安全安心の街づくり



動画で観よう！



財政調整基金残高約61億円強、昨年12月議会で、税金を徴収しても使わなければ残高が増える、という趣旨の発言を工藤市長はされている。考える税金の使い方、さらには財政の適正残高はどの程度に考えているのか。その根拠は何か。地方債、令和3年度末で約217億5千万円このうち臨時財政対策債約103億3千万円。私は以前から臨時債は減らすべきと言ってきた。残念ながら微増している。しかし、これ以上に注目したのが毎年の償還額、ここ5年間で償還額は2億1千万円弱、40パーセントも増加している。その分、事業費を圧迫している。前市長は、臨時財政対策債は、元利償還金相当額は交付金額ベースで地方交付税に上乘せされるから借金ではないと説明。地方交付算定の基準財政需要額は、市の人口が影響する。人口減少に転じた今、基準財政需要額が減少すれば、元利償還金相当額を交付税措置したとしても、地方交付税の交付金額は純増することにはならない。全額交付税に上乘せされるには限らない。臨時債への依存の考え、財政当局にどの様な指示を出したか。今後の財政運営に努めて頂きたい、如何か。

市長 標準財政規模、行橋市は大体150億円20%あれば良い。臨時債は慎重になる必要。公会計で言えば負債に入る。財政担当と密にして許される範囲、研究を重ねる。



いのうえりんたろう 議員
井上倫太郎

議員 工藤政権で、最低制限価格が設定された入札の件数、そして最低制限価格と落札額が一緒、工藤市長の言葉借りるとドンピシャの件数。そして落札者以外が全て失格になった入札の件数についてお答えいただきたいと思います。

総務部長 最低制限価格を設定いたしました入札の件数は74件で、最低制限価格と入札額が同額である件数につきましては、14件、また落札者以外で入札に参加された業者が全員無効となった件数につきましては、7件であったというふうな把握をいたしております。

議員 工藤市長は前政権の入札に対して情報漏えいの疑念や疑惑があるという言葉を、市長選挙でも、偏りのない、公平・公正な入札制度という公約をかかげられました。工藤市長の言動から多くの市民の方が具現化されたデータではなく、おおよそ噂レベルでドンピシャや落札者以外すべて無効はおかしいと、これはもう犯罪行為だと思っっている。

工藤市長に聞きたいと思います。自身自身が疑念を抱かれるといったやり方をそのまま継続しています。前政権と同じ

入札

やり方でやって、同じような結果がここに起きています。これに関して、工藤市長、どう思いますか。

市長 最低制限価格を当てること自体は、業者さんの努力で十分にある。情報漏えいを特定するわけでも決めつけるわけでもない。

議員 市長が市議会議員時代に疑惑を持たれるから是正しなさい！と言っていたことを、私は問題視している。そして市長選挙の際にも公約で挙げた、しかしながら結果的に半年経っても入札制度は何も変わっていない。

あなた自身が市民の方に疑念・疑惑をもたれる制度だと分かっているにも関わらず、制度は全く変えずに同じことが起きている。そこが問題だと私は思います。

行橋市の入札はおかしい！
情報が漏洩している！



正さないといけない！
という善意の吹聴がおこる！



動画で観よう！



ふじき こういち 議員
藤木 巧

議員 市民会館の廃止・解体について、当時の松本副市長は、警察署と市民会館の土地の等価交換だと言われました。警察署が解体された今、本当に等価交換だったのか。

総務部長 警察署の解体費用は約1億円で土地の売却価格は3億円程度。行橋市が少しだけ有利であったと思われます。

議員 でも、行橋市は市民会館が無くなっています。次にビーチバレーなどのスポーツイベントについては多くの問題がありました。今後のイベントに対して改善する予定は。

市長 ビーチバレーについて、不適切な会計処理および監査体制が問題だと認識しています。内部調査で2015年決算から支出帳簿など確認がとれていない数字がありますので、今後このようなことがおこらないように適宜みていきたいと思っています。

議員 次に国際彫刻展ピエンナレなどの文化事業について、彫刻展が今年度で終了します。来春で良いですがピエンナレに係った経費の総額を教えてください。これも実行委員会形式ですか。

市長 今回で4回です。実行委員会のあり方も含めて最後の年でありますので、しっかりとしたかたちで終わりたいと思います。

田中市政8年間の総括



動画で観よう！



議員 次に、新図書館リブリオが私たちの建設反対を押し切って開館しました。その管理運営には多くの問題があり、契約は15年間で物価スライドまで付いています。今後、契約の見直しをする予定はあるのか、お答えください。

市長 契約を変更するか明言はできませんが、先方としっかりやり取りをして適正な金額かどうか適切に判断したいと思います。

議員 続いて市職員の採用問題ですが、工藤市長も以前質問されました。一次試験で29人受けて29人合格。どう考えてもこれは無いですよね。今後、採用試験に関してどのように改善されるのか。

市長 今年度の採用試験から明確なルール・基準を設定し、事前にホームページで具体的な数を公表する予定です。不正が起きないような環境を整えて今後は進めていくつもりです。

議員 最後に政策全般についての質問です。これまで過去の総括でしたが、工藤新市長が新たなビジョン・施策を打ち出すために、その基盤になる機構改革が必要だと思います。できる限り新しい行橋の未来実現のための組織改革をお願いして質問を終わります。



にしおか じゅんすけ 議員
西岡 淳輔

安全で快適な住環境

議員 空き家を台風等の自然災害が襲い、地域、近隣や車両、住民にけが等の大被害。この状況を想定し、以前から市にも相談していた場合、行政の対応はどうなるのか。私が住む泉校区、草場区にも多くの空き家がある。具体的な方策を今考えておかなければいけない。空き家は更に増えると思う。住宅管理ベースは必要で重要。民間と協力が必要ではないか。

環境水道部長

空き家で被害が出た場合、ケースによっては行政側に責任を求められる場合もある。対応策は今後も検討。現在、所有者と行政側の責任で被害の場合は具体的な方策を正直持ち合わせていない。空き家対策の状況、現地確認や相続人調査、所有者意向調査等の詳細な状況をデータベース化できてない。データ管理は必要。

議員

市長の見解は。管理データベースは絶対に必要だ。しっかりとやっていきたい。

渇水対策

議員 渇水対策、水道管老朽化について。市内で一番古い水道管はいつ頃設置か。平成22年3月の質問で、平成33年度まで石綿管更新事業、早急に老朽管も含め、計画をつくるとの答弁だった。法定耐用年数は約40年と伺った。耐用年数

安全で快適な住環境

渇水対策

18歳までの医療費無償化



動画で観よう！



を過ぎた総延長と老朽管も含め、本市の漏水は。

環境水道部長

本市の一番古い水道管は昭和32年。水道管全体で約390km埋設。老朽管延長は令和4年3月末時点で約72.6km、老朽化率は約18.7%。漏水事故は年間100件から200件程度発生、その約9割が老朽管破損が原因だ。

議員

この漏水の量は何トンか、一般的な家庭(仮に4人家族)の使用量に例えるなら何日分か。

環境水道部長

正確ではないが一日当たり約900トン、一般家庭の使用量にすると約1,350日分に相当。

議員

驚きの数字だ。早急にスピードを上げて老朽管交換を実施すべきだ。

環境水道部長

漏水の減少は、とても有効な節水の一つ。漏水道路陥没事故が発生することもある。安全面を考慮しても漏水事故減少は非常に重要。漏水事故の減少、老朽管更新は優先課題として積極的に取組み、有収率向上と安定した水の供給に努める。

市長

漏水は、より意識を高く持って取組んでいかなければならない。

18歳までの医療費無償化

議員 18歳までの医療費無償化について再度伺う。令和5年4月から実施に間違いはないか。

市長 その予定だ。



とよせ やすし 議員
豊瀬 尉

北九州市からの取水(購入)

議員 水問題は、人間だけでなく動植物の死活にかかわる問題です。行橋市の水道事業は、行橋町時代の昭和28年に行橋浄水場で始まり、昭和46年に完成した油木ダムからの取水、その後の京築水道事業団(伊良原ダム)からの取水により行われていますが、過去には平成19年、21年、23年には1年おきの大渇水に見舞われ、今年も油木ダムの渇水による長期の取水制限が行われました。また、行橋市の水道料金は北九州市より高額です。

北九州市は近隣のダムの権利をすべて有しており、宗像市、福岡市に上水を安価な金額で販売しています。今の行橋市の水道事業にプラスして、安定的に安価な水供給を実現するには北九州市からの水の購入をおこなうべきですが、いかがお考えですか。

環境水道部長

行橋市の水道事業は日量23,800tで、油木ダム水系として今川から行橋浄水場・矢留浄水場で84%、祓川水系の伊良原ダムから16%で運営されており、通常であれば現在の水源で対応可能ですが、渇水や災害等が発生した

渇水対策



動画で観よう！



場合は、今回のように今川から計画通り取水出来ません。現在、福岡県が進めている福岡県水道広域化推進プランで、北九州市・行橋市・荻田町で広域連携の協議を行っており、令和2年に三者で基礎調査業務委託を行い、今年度は水道用水事業費を検討する工法検討業務委託を発注しています。

北九州市からの水道水供給は、水源の多様化及び安定水源の確保で有効な方法で、老朽化した行橋浄水場の数十億円かかる建て替え費用の削減や、矢留浄水場の更新費用及び維持管理の削減が期待できます。今後は、広域連携の推進役の福岡県や関係機関との協議・調整を進めて、議員のおっしゃる通りの方向で、水の確保に努めて参ります。





こつぽ しゃんや 議員
小坪 慎也

経済安全保障法制と 地方行政



動画で観よう！



議員 市内にはかなりの規模の企業があり、危機啓発については何度も提案してきました。同法制定の支援活動をしてきましたが、既に法律ができております。

総務部長 経済安全保障への取組みについては、国家のみが行うものではなく、今後は地方行政にも、その責務が課せられてくると考えられております。

議員 議会配付資料は、現・経済安全保障担当大臣である高市早苗大臣と大臣室で会った際の写真です。表敬訪問ではなく、地方議員としての要望活動です。資料は私の執筆した「正論」の原稿であり、正直それなりにグレードの高い雑誌です。国会議員も読みますし、地方行政でもかなり読まれている雑誌です。

行橋市には、日産やトヨタ関連企業、安川電機等々があります。地方自治体とサプライチェーンの問題は経済安全保障と無関係ではありません。最低限の防衛策は必要だと思えます。

産業振興部長 特定重要物資の安定的な供給の確保では、サプライチェーンが関連することから中小の地場企業に影響があると考えられます。本市としては、締約内容について精査を行い、政府の方針に鑑み対応を考えていきます。

議員 セキュリティクリアランスについては、いかがお考えでしょうか。

総務部長 政府が制度化に向け準備を進めていると伺っておりますので、国の動向を注視しながら、市の取組みについては検討してまいります。

議員 法律ができたこと、今からこうなるよという説明を地元の企業に市としてしないんですか。

市長 国においても法律を定めたことは本当に重要なことで、経済安全保障の問題に関しましては、市としてもきちっと伝えていく必要性があると思っております。どのようなかたちで伝えていくかにつきましては、もう少しお時間をいただきたい。

議員 行橋市が、他国と何らかの契約やそれが法的拘束力のないものであったとしても、これは中国だけではなく、いかなる国家であったとしても、議会に諮る、また報告すると議場で約束していただけないでしょうか。

市長 そういったシーン、確かに起こり得ますので、議会にも諮らせていただきたい、相談させていただきたいと思えます。



たなか つぎこ 議員
田中 次子

産後ケア事業 ・公共施設 ・公衆トイレ問題



動画で観よう！



産後ケア事業

議員 事業開始後4年が経過したが、もっと利用が増えるよう、改善や周知の工夫が必要だと考える。これまでの宿泊型（シヨートステイ）訪問型（アウトリーチ）では対応できない「産後のニーズ」に応えるために、新たに通所型（デイサービス）の導入について市長の考えを問う。

市長 実際に結構様々な自治体が進めているようなので、研究させていただきたい。選択肢を増やすというところは、必要だと思っている。後はしっかりと受け入れ態勢が整えられるかどうか問題かと思っている。

議員 産後の疲れ、育児に不安を感じていない母親は一人もいないはず。子育て支援のはじまりは産後ケア事業だと思っている。早急に制度の拡充を求める。

公共施設・公衆トイレ問題

議員 市役所など、特に利用者の多い1階トイレ、故障中の多目的トイレは、高齢者・障がい者の方々の視点での早期改修を求める。小中学校の個室トイレへの生理用品の設置について進捗を問う。

また、他自治体では、前立腺がん・膀胱がんなどの疾病により、尿漏れパッドなどを使用される方が一定数おられることから、男性用の個室トイレにサニタリーボックスを設置する取組みが始まっている。本市での導入について。

総務部長 利用者目線に立った工夫をする必要があると考えているので、できるだけ細かな点についても対処をしていきたい。

市長 より率直な子どもたちの意見を吸い上げたいという思いをもって、いま教育委員会も動いている。総合的に踏まえて、前向きに考えていっていいのではないかと考えている。男性用トイレのサニタリーボックスの設置については、基本的に設置する方向で検討している。

議員 行橋駅西口公衆トイレの改修事業について。

市長公室長 公共空間のトイレの環境は、子どもからお年寄りの方まで、誰もが安心して利用できる、清潔で、特に照明も含めて物理的なものも含めた明るい空間となるように、しっかりと留意したい。



かわらがわ ゆみ 議員
瓦川 由美

議員 少子化が進む中、子育てしやすい環境を整える取り組みについて、行橋市の出生数について、お尋ねします。

福祉部長 平成29年が646人、平成30年が613人、令和元年が597人、令和2年が573人、令和3年が538人という状態です。

議員 行橋市の子育て支援の取り組みについて、お尋ねします。

福祉部長 独自の取り組みとして、平成29年6月に子育て包括支援センターを設置し、妊娠から出産、育児を切れ目なく支援する体制整備を行っています。また、平成30年10月から産後ケア事業のショートステイを開始。母子手帳アプリの作成や新生児一人につき5万円を支給しました。今後は、子ども医療費の18歳までの無料化、産後ケア事業の通所型を検討しています。

議員 母子手帳アプリと福岡県が参加している子育て応援パスポート事業と連携をして頂き、割引サービスを受けられるようにして頂きたい。また、コロナ特別委員会でも要望しましたが、新生児の子育て応援特別給付金、この事業は継続して頂きたいと思えます。例えば、行橋市

今後のまちづくり



動画で観よう！



の出生数が年間600人であれば、1歳未満の乳児一人3万円を給付したとしても1,800万円。ビエンナーレ事業を取りやめることで3千万円の予算が浮きます。18歳までの医療費の無料化はいつから行いますか？併せてお尋ねします。

市長 18歳までの医療費の無料化は、来年度からスタートすることで調整していきます。子育て世代を支援することは必要だと思っておりますので、こういった形が良いのか精査したいと思えます。

議員 子どもにとって安全で安心な社会は、全ての人に安全で安心な社会です。子育てに関しては、色々な施策を打ち出して頂きたいと思えますが、市長のご所見をお伺いします。

市長 色々な施策が市民の皆さんに実感して頂けるように、子ども医療費を中心に分かりやすく、見えやすくして、市民の皆さんと共有できるよう、広報の仕方を改めまして、訴えていきたいと思えます。

議員 市長には、市民の市民による市民のためのまちづくりへの舵取りをして頂きますよう、お願い致します。



こみ ゆうじ 議員
小見 祐治

行政運営

議員 市長は、市長就任前まで市議として約10年間、本市の行政運営に関わり、市議時代は、様々な市民の皆様や関係団体等と意見交換を行ったり、必要に応じて担当部署との職員とも様々なやり取りを行ってきたと思う。また定例議会では、毎回執行部に対して一般質問を行ってきた。このように様々な経験を積み重ねてきた後、3月18日より本市の舵取り役を市民の皆様から託されスタートした。

市民の皆様も大きな期待を寄せていると思うが、今回、市長が本市の舵取り役を担っていくにあたり、これまで行政に関わってきた経験を今後の行政運営にどのように生かしていくつもりなのか、具体的な施策とかではなく、進め方等、いわゆる手法的な考えについて問う。

市長 分かりやすい例で言うならば、市長まちかどトーク、というような対話をする機会といったものをつくっていかなければいけないと思っております。また、まちかどトーク以外のかたちでも、市民の皆様さんとのやり取りの場といったものを増やしていきたい。

行政運営

渇水対策



動画で観よう！



また、中長期的な財政というものを考えたうえで、公共施設の具体的な更新、あるいは統廃合、圧縮、そういったところを本格的に取組んでいかなければいけない。

渇水対策

議員 渇水対策について、本市では令和に入り、2回目の渇水対策本部の設置だが、市民への安心安全な水供給を行っていくための水源の多様化及び安定水源の確保について、市長の考えを問う。

市長 漏水調査及び老朽管の更新をさらに前向きに取組んでいく。また、広域連携の観点から、現在、北九州市、荏田町と一緒に調査・研究を行っている。今後は、今まで以上に積極的に国や県への相談や働きかけを行い、水源の多様化及び安定的な水の供給に努めていく。





にしだ けんじ 議員
西田 憲司

行橋市の道路情勢

議員 都市計画路線の長期未着手、未整備路線について、今後どのように進めていくのか。

都市整備部長 長期未着手、未整備路線につきましては、現状または将来のまちづくりの方針を見据えながら、都市計画決定や整備の必要性について、令和2年度より行橋市都市計画道路網再編検討委員会におきまして、再評価再検討を行っているところであり、検証の結果、評価に応じて存続・廃止等を判断していくこととなります。今年度中には、その結論が出る予定であり、都市計画道路の計画変更等が生じれば、地権者、住民を含め、関係者に丁寧の説明していく必要があると認識しております。

議員 自転車通学路の整備について（今川橋北交差点）

都市整備部長 今川橋北交差点は、朝夕の通勤通学時間帯を中心に非常に混雑が発生しております。特に今川橋から交差点に向かう市道の方向では、右折レーンが設置されていないことで後続車の通行ができない場合もあり、混雑の頻度が高い状況であります。また、横断歩道の歩

行橋市の道路情勢

駅東口街づくりの現在・過去・未来



動画で観よう！



行者溜り、歩行者スペースが狭く、通勤・通学時間では、多くの歩行者、自転車車が混在し危険な状況であります。今後は県事業として歩行者溜り及び歩道の取付工事により、幅員が現況1.6m程度の歩行者溜りが2.2mから7mの歩行者溜りに整備され、今年度で完了予定と聞いております。これにより、今川橋北交差点の歩行者及び自転車通行者の安全が従前より確保できるものと考えております。

駅東口街づくりの現在・過去・未来

議員 駅東側の具体的な街づくりの方針について、国土交通省の健全なる街づくりの指針にも、公園の整備が必要というふうに書かれております。市長も安心安全な遊び場の推進ということで、子ども達の為に何かしてあげたいという気持ちもすごく分かります。是非、調査しながら東側地域に地区公園が誕生できるように推進していただければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



とくなが かつこ 議員
徳永 克子

築城基地問題

（爆音問題、安全性、米軍の基地使用、基地拡張の計4項目10点について質問を行い、総務部長より答弁を受けた後）

議員 防衛省はこれまで、緊急時使用のための米軍の訓練はないと言ってきたが、訓練移転の中で訓練を実施することを明らかにした。緊急時における使用期間、頻度等については、米軍が決める。回数も夜中などの時間帯も、すべて米軍のいうがままになる。築城基地が大きく変わっていく状況で、市はどう対応するのか。

市長 まず市民の安全安心、生命を守る観点が必要。一方、国防という観点からの両方を踏まえて防衛省と連携していく。

議員 日本の憲法を守りながら、平和をどうつくっていくのかの問題は重要である。武力を拡大していくことが平和につながるとは思わない。国防のためと言って、行橋の市民の命と安全、住環境を守られない事は絶対にしてはならないし、それを口に出してはいけないのが市長の仕事だと思う。

奨学金制度の改善

議員 行橋市の募集枠は、返還型奨学金の高校は20人以内、大学は20人以内。条件

築城基地問題

奨学金制度の改善

物価高騰対策



動画で観よう！



付返還免除型奨学金の一般型は20人以上、保育士関係は3人以内、教員で2人以内です。受給者の実態は。

教育部長 昨年度の貸付実態は、要返還型は高校生1名、大学生6名。返還免除型は一般型4名、特定職業型1名です。

議員 非正規雇用が多く、返済が困難。親権者以外の連帯保証人がいない。親が滞納者では資格がない等、条件が不適当である。学びを希望する全ての子どもに保障するよう、条件の大幅な変更を求めます。

市長 やる気がある子、全ての子どもたちに教育をしっかりと保障していくことは、追求していくべきと思っております。市民のニーズに答えられるのか、分析・研究をまず行いたい。

物価高騰対策

議員 学校教育のあり方について、憲法26条第2項「全て国民は法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う、義務教育はこれを無償とする」学校給食は教育の一環であり、給食費の無償化を求めます。

教育部長 学校給食法第11条規定に基づき、その給食費を徴収しています。

行橋市議会における 議会改革10年のあゆみ

行橋市議会では、これまで議会改革を行うため、特別委員会を設置してまいりました。令和4年9月定例会において、新たな議会改革特別委員会を設置し、より良い議会のあり方について調査研究を続けてまいります。ここでは、これまでの議会改革のあゆみを振り返っていきます。



「議会改革特別委員会」

調査期間：平成24年12月14日～平成26年6月26日
調査目的：議会基本条例の制定に関する事項
 計30回委員会を開催
主な取り組み
 ・費用弁償の廃止
 ・行橋市議会基本条例を制定

2012
平成24年

平成25年5月行橋市議会に関する市民アンケート調査を実施

平成26年6月26日
行橋市議会基本条例を制定

「議会改革推進特別委員会」

調査期間：平成26年6月26日～平成27年12月18日
調査目的：議会基本条例の施行に伴う例規の整備、及び議会改革の諸問題に関する事項
 計33回委員会を開催
主な取り組み
 ・一般質問において一問一答方式を実施
 ・議会報告会の開催内容を調整し、初めての議会報告会を開催
 ・市民に分かりやすい議会活動を目指し、全ての会議の傍聴を開始
 ・研修や視察に要した費用、及び活動状況についてホームページで公開
 ・議会基本条例の逐条解説を作成

2014
平成26年



平成27年4月17日 第1回議会報告会を開催し76人の市民が参加

平成27年12月定例会より本会議の録画配信を開始

「議会改革調査特別委員会」

調査期間：平成30年9月25日～令和元年12月20日
調査目的：議員定数及び議会改革に関すること
 計26回委員会を開催
主な取り組み
 ・議員定数を削減（定数21名⇒定数20名）
 ・委員会の見える化
 （常任委員会及び特別委員会等すべての会議の録画を開始）

2018
平成30年



平成29年3月25日第2回議会報告会を開催し、70人の市民が参加

「議会改革調査特別委員会」

調査期間：令和4年9月28日～現在
調査目的：予算決算の審査方法及び議会改革に関すること

2022
令和4年

令和元年6月20日
行橋市議会議員定数条例を改正
議員定数が20名に



議会改革調査特別委員会の様子

委員長
副委員長
委員

田中 瓦川 徳永 小西 小堀 西野 小矢 西野 見野 小堀 西野 見野 小矢 西野 見野

議会改革調査特別委員会

令和4年9月28日、予算決算の審査方法及び議会改革に関する調査事項として設置しました。

議会改革調査特別委員会を設置

議会日誌

- 8月10日(水) 在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係
市町村議会連絡協議会要望活動(東京都千代田区)
- 8月22日(月) 全員協議会
- 8月22日(月) 代表者会議
- 9月2日(金) 議会運営委員会
- 9月2日(金) 文教厚生委員会
- 9月6日(火) ~28日(水)
令和4年9月第14回行橋市議会定例会
- 9月6日(火) 代表者会議
- 9月12日(月) 代表者会議
- 10月1日(土) 市民文化祭開会式及び記念式典
- 10月5日(水) 文教厚生委員会
- 10月6日(木) 行橋市老人クラブ体育レクリエーション大会
- 10月7日(金) 三重県四日市市議会行政視察
- 10月11日(火) ~12日(水)
文教厚生委員会視察研修
(神奈川県横須賀市、川崎市)
- 10月12日(水) 福岡県北部市議会議長・副議長会(北九州市)
- 10月14日(金) 議会改革調査特別委員会
- 10月19日(水) ~10月20日(木)
全国市議会議長会研究フォーラム(長野県長野市)
- 10月24日(月) 福岡県市議会議長会
- 10月25日(火) 議会運営委員会
- 10月26日(水) 全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会
(熊本県熊本市)
- 10月26日(水) ~28日(金)
基地対策特別委員会視察研修
(沖縄県北中頭郡北中城村、読谷村)
- 11月1日(火) 市議会だより編集委員会
- 11月1日(火) 文教厚生委員会
- 11月2日(水) 全国市議会議長会基地協議会理事会
(東京都千代田区)
- 11月2日(水) 公有地の占有に関する調査特別委員会
- 11月7日(月) 議会改革調査特別委員会
- 11月7日(月) 総務委員会
- 11月10日(木) 京都府向日市議会行政視察
- 11月10日(木) 防災訓練
- 11月14日(月) ~15日(火) 総務委員会視察研修
(岡山県岡山市、兵庫県西宮市)
- 11月14日(月) ~15日(火) 建設経済委員会視察研修
(福井県福井市、滋賀県彦根市)

人事案件

令和4年9月28日、令和4年
第14回行橋市議会定例会におい
て議決を行い同意しました。

行橋市

人権擁護委員候補者の推薦

波多江 昌弘(はたえ まさひろ)



10/1 市民文化祭開会式



10/6 老人クラブ体育レクリエーション大会



10/26 全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会時視察

全員協議会が開催されました。

令和4年8月22日(月)市役所周辺駐車場の今後の方針について、全員協議会が開催されました。

市長、副市長、教育長をはじめ、各部長が説明者として出席し、会議が進められました。

市役所周辺駐車場については、令和4年6月定例会において、行橋市月極駐車場の設置及び管理に関する条例が上程され、賛成少数で否決されました。

全員協議会では市役所周辺駐車場の今後の方針についての説明がなされ、議員からの質疑が行われました。

9月定例会では、行橋市財産条例の一部を改正する条例の制定が上程され、賛成多数で可決されています。



行橋市子ども議会を開催

令和4年8月6日（土）、行橋市子ども議会が開催されました。平成29年に行橋市で開催され、今回で6回目となります。

市内の小・中学校に通う子ども議員が、市政に対する質問を市の執行部へ問いかけました。

子ども議会では、議長も子ども議員の中から選出され、議事進行を執り行います。2人の議長が選出され、あわせて17人の子ども議員が活躍しました。



行橋小学校 6年
龍山 光輝 議員



今元中学校 1年
吉田 和 議員



泉中学校 2年
吉廣 姫夏 議員



泉中学校 3年
末岡 甲至 議員



行橋中学校 3年
梅村 奏太 議員



泉中学校 3年
今村 紗菜 議員



榑市小学校 6年
森 遼真 議員



長峯中学校 3年
磯元 藍瑠 副議長



中京中学校 3年
白橋 陽那 議長



今元中学校 3年
西村 優捺 議員



長峯中学校 1年
遠藤 優奈 議員



仲津中学校 3年
杉本 洸太 議員



泉中学校 2年
佐藤 桜乎 議員



泉中学校 3年
首藤 創志 議員



仲津中学校 2年
田久保 奏愛 議員

子ども議会の一般質問議事録は
行橋市教育委員会ホームページから
ご覧いただけます。

行橋市教育委員会ホームページ



中京中学校 3年
中野 衣梨 副議長



行橋中学校 2年
龍山 咲良 議長

一般質問一覧表

①龍山 光輝 議員

タブレットのフィルタリングと教科書のタブレット化

②吉田 和 議員

子供からお年寄まで快適に暮らせる街づくり

③吉廣 姫夏 議員

行橋市が今後水不足にならないようにする取り組み

④末岡 甲至 議員

長井浜の観光地化

⑤梅村 奏太 議員

行橋市の道の拡張

⑥今村 紗菜 議員

あさぎ家周辺の道幅拡大

⑦森 遼真 議員

魚を守り、増やすための取組

⑧磯元 藍瑠 議員

給食の廃棄ロスを減らすための取り組み

⑨白橋 陽那 議員

現在の献血者の割合や献血者の人数の減少

⑩西村 優捺 議員

プラスチックゴミ問題やゴミ分別を行うための取り組み

⑪遠藤 優奈 議員

多目的トイレをもっと多くの方が使えるような取り組み

⑫杉本 洸太 議員

行橋市民によるボランティア活動やイベント

⑬佐藤 桜乎 議員（当日欠席）

制服のジェンダーレスへの取り組み

⑭首藤 創志 議員

治安維持

⑮田久保 奏愛 議員

海洋汚染対策への取り組み

⑯中野 衣梨 議員

勉強する環境を平等に

⑰龍山 咲良 議員

SDGsの授業

議案の審議結果一覧

令和4年9月第14回定例会 9月6日～9月28日



イルミネーションが
お出迎え

令和5年1月8日まで、
行橋駅東口前広場のイル
ミネーションが、人々を
楽しませてくれます。

全員一致で可決等された議案

提案者：市長

- 議案第41号 行橋市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第42号 行橋市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第45号 行橋市水道事業運営審議会設置条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第50号 令和4年度行橋市国民健康保険特別会計補正予算
- 議案第51号 令和4年度地方卸売市場行橋市魚市場特別会計補正予算
- 議案第52号 令和4年度行橋市・苅田町・みやこ町介護認定特別会計補正予算
- 議案第56号 令和4年度行橋市公共下水道事業会計補正予算
- 議案第59号 令和3年度地方卸売市場行橋市魚市場特別会計歳入歳出決算の認定
- 議案第60号 令和3年度行橋市・苅田町・みやこ町介護認定特別会計歳入歳出決算の認定
- 議案第66号 令和3年度行橋市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 議案第67号 訴えの提起
- 議案第68号 令和4年度行橋市一般会計補正予算（第4次）

提案者：議員

- 議案第69号 議会改革調査特別委員会の設置
(提出者：田中建一・鳥井田幸生・井上倫太郎・小堤千寿)
- 意見書第6号 地方財政の充実・強化に関する意見書
(提出者：澤田保夫・藤木巧一・小見祐治)
- 意見書第7号 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書
(提出者：田中建一・藤木巧一)

お詫びと訂正

市議会だより第161号（令和4年8月15日発行）16ページ議決結果に於いて、誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

議案第25号

市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

【個別の議決結果】

田中次子議員（誤）反対 → 正）賛成

決議・意見書の内容を
ホームページから確認できます

行橋市議会ホームページ内の

これまでの結果



決議・意見書一覧からご覧ください。



本会議で賛否が分かれた議案

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席

件名	提案者	結果	会派/議員名				政友会				市民の会Ⅱ				清流会Ⅱ				清流会		諸派			
			豊瀬 尉	田中 建一	藤本 廣美	小見 祐治	二保 茂則	鳥井田 幸生	藤木 巧一	瓦川 由美	澤田 保夫	井上倫太郎	西田 憲司	矢野 潤一	西岡 淳輔	小原 義和	小堤 千寿	徳永 克子	大池 啓勝	小坪 慎也	田中 次子			
議案第43号 行橋市財産条例の一部を改正する条例の制定	市長	可決	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	×	×	○			
議案第44号 行橋市企業誘致条例の一部を改正する条例の制定		否決	×	×	×	×	欠	×	○	○	×	×	×	×	×	-	×	×	×	○	×			
議案第46号 行橋市及び苅田町におけるはしご自動車の共同運用に係る連携協約の締結に関する協議		可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○			
議案第47号 行橋市図書館等複合施設整備事業に係る事業変更契約の締結		否決	×	×	×	×	欠	×	○	○	×	○	○	×	○	-	×	×	×	×	×			
議案第48号 行橋市民体育館外部等改修工事請負変更契約の締結		否決	×	×	×	×	欠	×	○	○	×	×	○	×	×	-	×	○	×	×	○			
議案第49号 令和4年度行橋市一般会計補正予算		可決	○	○	○	○	欠	×	○	○	×	○	○	○	○	-	×	×	×	○	×			
議案第53号 令和4年度行橋市介護保険特別会計補正予算		可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	×			
議案第54号 令和4年度行橋市農業集落排水事業特別会計補正予算		可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	×			
議案第55号 令和4年度行橋市後期高齢者医療特別会計補正予算		可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	×			
議案第57号 令和3年度行橋市一般会計歳入歳出決算の認定		認定	×	×	×	○	欠	×	○	○	×	○	○	○	○	-	○	×	退	○	×			
議案第58号 令和3年度行橋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	退	○	×			
議案第61号 令和3年度行橋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	退	○	×			
議案第62号 令和3年度行橋市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	退	○	×			
議案第63号 令和3年度行橋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	退	○	×			
議案第64号 令和3年度行橋市水道事業会計決算の認定		認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	退	○	×			
議案第65号 令和3年度行橋市公共下水道事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	退	○	×				
諮問第1号 行橋市人権擁護委員候補者の推薦（人事案件）	同意	無記名投票による採決のため、賛否は特定できません。																						

※議長（小原義和）は採決に加わりませんが、可否同数の場合は、議長において可否を決定します。